

# 平成 24 年度フォローアップ研修報告

システム情報技術系・生産技術系  
満吉 修二・松元 明子・池田 亮・奈良 大作

## 1. 研修期間

平成 24 年 6 月 4 日（月）～平成 24 年 6 月 6 日（水）

## 2. 場所

鹿児島大学中央図書館 5 階ライブラリーホール

## 3. 研修目的

コミュニケーションに関する講義・演習を通して、自己及び他者に対する理解を深めるとともに、コミュニケーションスキルの向上を目指す。

また、仕事の意欲向上やタイムマネジメントに関する講義・個人ワーク及びグループワーク等を通して、自分の仕事の進め方や取り組む姿勢を振り返り、身に付けたスキルの整理を行うと共に、参加した職員同士のコミュニケーションを深める。

## 4. 研修内容

6 月 4 日（月）

開講式・オリエンテーション

講義「採用後 3～5 年目を迎える職員に求めるもの」

事務局長 渡辺 政美 氏

講義「コミュニケーション」

教育学部附属教育実践総合センター 准教授 関山 徹 氏

6 月 5 日（火）

オリエンテーション

「仕事の意欲向上」

株式会社 インソース 大坪 浩民 氏

6 月 6 日（水）

オリエンテーション

「タイムマネジメント」

株式会社 インソース 大坪 浩民 氏

閉講式

## 5. 研修報告

システム情報技術系 満吉 修二

平成 21 年度に採用され鹿児島大学職員として採用されて 3 年間業務に徹してきた傍ら一社会人として自分を見つめ直す良い機会だと感じられた研修であった。特に印象深かったことは（株）インソース講師の大坪浩民氏の体験談だった。元社会保険庁の職員として話しづらいことを例に各議題と結びつけて講義されていることが印象的だった。私も辿ってきた道は違いますが大学職員に採用されるまでは、バブル崩壊後の厳しい雇用情勢と格闘しながら仕事をしてきたので共感する部分が多々あり、以前の職場での苦労したことや辛かったことが同時に頭の脳裏に浮かび上がってきた。

研修内容は普段接することがない事務職員と意見交換ができ、討論しながら事務職員の業務話が聞け

で大変参考になった。また研修方法も今までと違い自分で意欲的に考えグループの中で意見発表する充実した研修だった。当日に議題を考えさせるのではなく、今回の研修のように事前に宿題があった方が、研修内容に集中し議論できるのだと痛感した。

これから大学職員として様々な難しいことに直面することが多々あると思うが、鹿児島大学に貢献できるように今回の研修内容を業務に活かしていきたいと思う。

#### システム情報技術系 松元 明子

国立大学を取り巻く状況について具体的なお話をいただき、とても理解が深まった。特に近年、国立大学の機能強化を図るため、さまざまな方策がまとめられていることや、「国立大学改革強化推進事業」のような予算面での措置など、内外から改革への取り組みが行われていることを知り、大学職員として、気持ちを引き締めて業務に取り組まなければならないとの思いを強くした。

今回の研修に参加して、コミュニケーションの難しさを改めて感じた。折に触れ、コミュニケーションについての研修を受けてきたこともあり、知識として知っていることばかりだったが、実践できていることは少なく反省することが多かった。「仕事の意欲向上」の講義・ワークでも、結局はコミュニケーションに回帰していて、自他尊重というアサーティブな考えが重要だと感じた。

「タイムマネジメント」の講義・ワークでは、効率よく仕事をするにはリスクの管理も重要であるということ認識することができた。

自分の業務や考え方の癖などを、客観的に振り返る機会を持つことができたことは、この研修における大きな収穫だったと思う。この研修で感じたことを忘れず、日々の業務に取り組んでいきたい。

#### システム情報技術系 池田 亮

今回のフォローアップ研修は、講義形式の「採用後3～5年目を迎える職員に求めるもの」及び「コミュニケーション」、講義・個人ワーク・グループワーク形式の「仕事の意欲向上」及び「タイムマネジメント」という、事務職員・技術職員のどちらにも役立つ内容であった。

いずれの内容も、日々の仕事を進めていく上で土台となるもので、特に「タイムマネジメント」は非常に勉強になった。この時間、グループワークのリーダーを務めたのだが、なかなか時間内に効率的・生産的な議論ができなかったことは反省点の一つである。

チームワークを良くし、全体としての生産性向上につながれば、これまでよりも質の高い仕事を遂行できると思うが、そのためにすべきことが何かは、まだ自分でつかみ切れていない。今後もこのことについて勉強を続けたい。

#### 生産技術系 奈良 大作

グループワークを通じて仕事の意欲向上、タイムマネジメントなど、今後の業務に役立つと思われる内容を、採用後3年～5年目のいわゆる同期またはその近辺の方々と楽しく受講することができた。内気で不器用でネガティブな性格が起因して、コミュニケーションというものが大の苦手な私も意見を細々と言うことができ、和気あいあいとした雰囲気の中で行えたことは良かったと思う。

アサーティブという言葉は初めて聞く言葉で、自分の傾向として非主張的な人間なので、こういう考え方や行動の仕方があることが強く印象に残った。モチベーションの分類分けでは、グループの人たちそれぞれの考えを聞いたことがおもしろく、自分の考えや工夫と照らし合わせて“こんなやり方もあるのか”、“こう考えればいいんだ”と思いつくことができたし、また他のグループとの意見交換や討論を通じて、多くの意見を聞くことができたのは大変貴重だった。

これから仕事に慣れるにつれて、落ちてくるであろうモチベーションを維持し、意欲を向上させるために、アサーティブな考え・方法を次第に取り入れ、「やる気・元気・いわき」をモットーに業務を遂行できるよう頑張りたい。